

かつて富士山と並び称された東国の名山 筑波山 ①表登山道

山岳の特徴 ▲ 〇 火 付近の観光

87くはさん
一等七角点

コースの難易度	体力度	危険度
●●●●●	●●●●●	●●●●●
日帰り	歩行時間: 4時間25分	累積標高差: 7,731m
		乗積標高差: 7,731m

昔は、霧峰富士と並び称される東国の名山だった。ただし富士は仰ぎ見る山、筑波は登る山の

違いがあった。登れない西国の人们は、憧れる気持ちを歌に託した。『万葉集』に筑波山を詠んだ長



南面の神郡付近から眺めた霧氷の花咲く筑波山



菜の花のころの男体山(左の峰)



まず参拝したい坂東25番札所の大御堂

チェックポイント

- 1 1月下旬から見こえる筑波山梅林
- 2 和合の象徴にされる筑波神社の拝殿
- 3 石造りの鷹居をくぐる表登山道の入口
- 4 ガマにそっくりに見える山上の磐臺石
- 5 筑波山頂の女体山岩頭は常に雌雄気味
- 6 女体山山頂に鎮座する筑波神社の本殿

歌・短歌が25首もあるのがそれを物語っている。

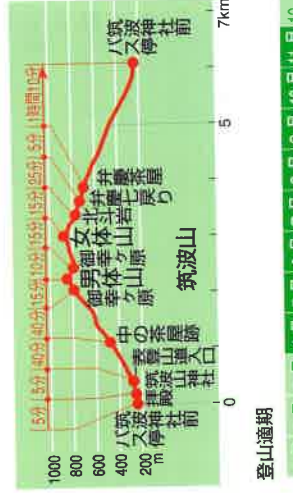
今は誰でも登れる行楽の山。南面をケーブルカーが、東面をロープウェイが昇降している。登山道も四方から海拔8000mの御幸ヶ原を目指している。

4コースのなかで最もポピュラーなのが表登山道である。中腹に建つ筑波山神社拝殿と、山頂にある同本殿を行き来する御鷹居わりの道であり、古くから歩かれてきた。途中で勅撰和歌集に詠まれている男女川を渡る。

門前町を抜けて直進すると拝殿に突き当たるが、その前に坂東25番札所の本堂にも参拝してこよう。旧バス終点前の参道を上つていく。春先はさらに足をはして、筑波山梅林を一巡してみるのも一

興だろう。紅梅、白梅が3000本以上植栽されているが、この梅林には昔から緑梅(梅の葉を愛でる風習)がある。

さて、表登山道の入口は、ケーブルカー宮脇駅近くにある石の鳥居。登り出すと最初は穏やかな傾斜だが、すぐに木の根と露岩を足がかりにする急登になり、たちまち汗が噴き出してくる。ひと息入れるのが、中間にあった中の茶屋の跡。茶屋は廃業して撤去されたが、



登山シーズン

表登山道は濃い樹林に覆われているが、山と道の勾配がけっこの険しいから、夏は汗まみれになる。その時期、観光客の多くはケーブルカーで涼風の吹く御幸ヶ原に登っている。表登山道を歩いて登るのは、やはり4~5月の新緑のころと10~11月の紅葉のころがベストだろう。

ワンポイント・アドバイス

- * 公共交通機関を利用する場合、以前は土浦駅→筑波山口(旧筑波駅)→筑波神社前が一般的なアクセスだったが、平成17年8月につくばエクスプレスが開業して以来、TXつくば駅が筑波登山の起点になっている。
- * 筑波山梅林は、中腹の海拔約2500m付近に広がっている。早咲きものは1月下旬に見ごろになるが、梅まつりは2月中旬~3月中旬の開催。最近、お年寄りや足の弱い人も歩ける木道と、展望台が設けられた。
- * 筑波山山頂にある横溝夜雨の詩碑は、代表作「お才」の「女男」の一節を刻んだもの。「女男(ふたり)居てさかれば寂しいものに霧がかかれば寂しいものを……」。もちろん、作中の「女男」は女体山と男体山に掛けている。
- * 下山後に楽しめるのが筑波山温泉郷での入浴。神社の門前に建ち並ぶ数軒の旅館は、ほとんど露天風呂を有している。湯は肌触りのいい単純泉。

問い合わせ

つくば市商工観光課 ☎029-836-1111、つくば市観光案内所 ☎029-855-8155、筑波山観光案内所 ☎029-866-1616、関東鉄道バスつくば北営業所 ☎029-866-0510

2万5000円

筑波

跡地が小公園風になっており、ケーブルカーのすれ違い風景も見られる。

釜屋跡を離れると、登山道が一時的に平坦あるいは下降気味になる。トンネルに入ったケーブルカーの軌道土を横断しているからである。再び急な斜面を登り出すまでの東の間に、清水が流れる風雅な場所がある。

この男女山の流れに掛けて、陽成院が『後撰集』に恋の歌を遺している。「筑波嶺の嶺より落つるみな川のひそつもりて淵となりぬる」。秀歌はのちに藤原定家によって「百人一首」に採録され、草葉的な美しさが後世の歌人たちに大きな影響を与えた。

後半も同じような急な登行が続くが、樹林が切れて青空が仰げるようになると、まもなく御幸ヶ原に着く。双耳峰の鞍部であり、右手(東)で女体山が、左手(西)で男体山が標高を競っている。対面に加波山が望める。

山頂エリアでは、先に男体山に登った方がいい。御幸ヶ原から女

体山へは、電波塔が林立する山稜を行く。谷道に筑波嶺詩人とよばれた樹齢夜雨の詩碑や、石を口に投げ入れると幸福になれるという饗養石などがある。

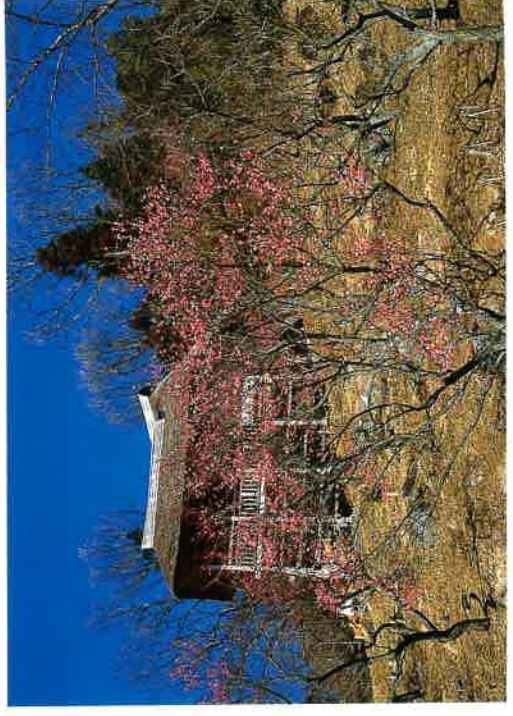
主峰である女体山の頂上は、登山客と観光客で常にラッシュ状態だが、岩頭に立つと霞ヶ浦や関東平野が一望できる。

下山方法はいくつか考えられるが、大別すると以下の2通り。もう歩くのは充分という人は、ロープウェイかケーブルカーを使う。余力がある健脚者などは徒歩で下るが、その場合、最もおもしろいのが、筑波山の特徴である高岩怪石が次々に現れるつつじヶ丘コースを下って、弁慶釜屋跡からさらに筑波山神社を目指すロングコースである。

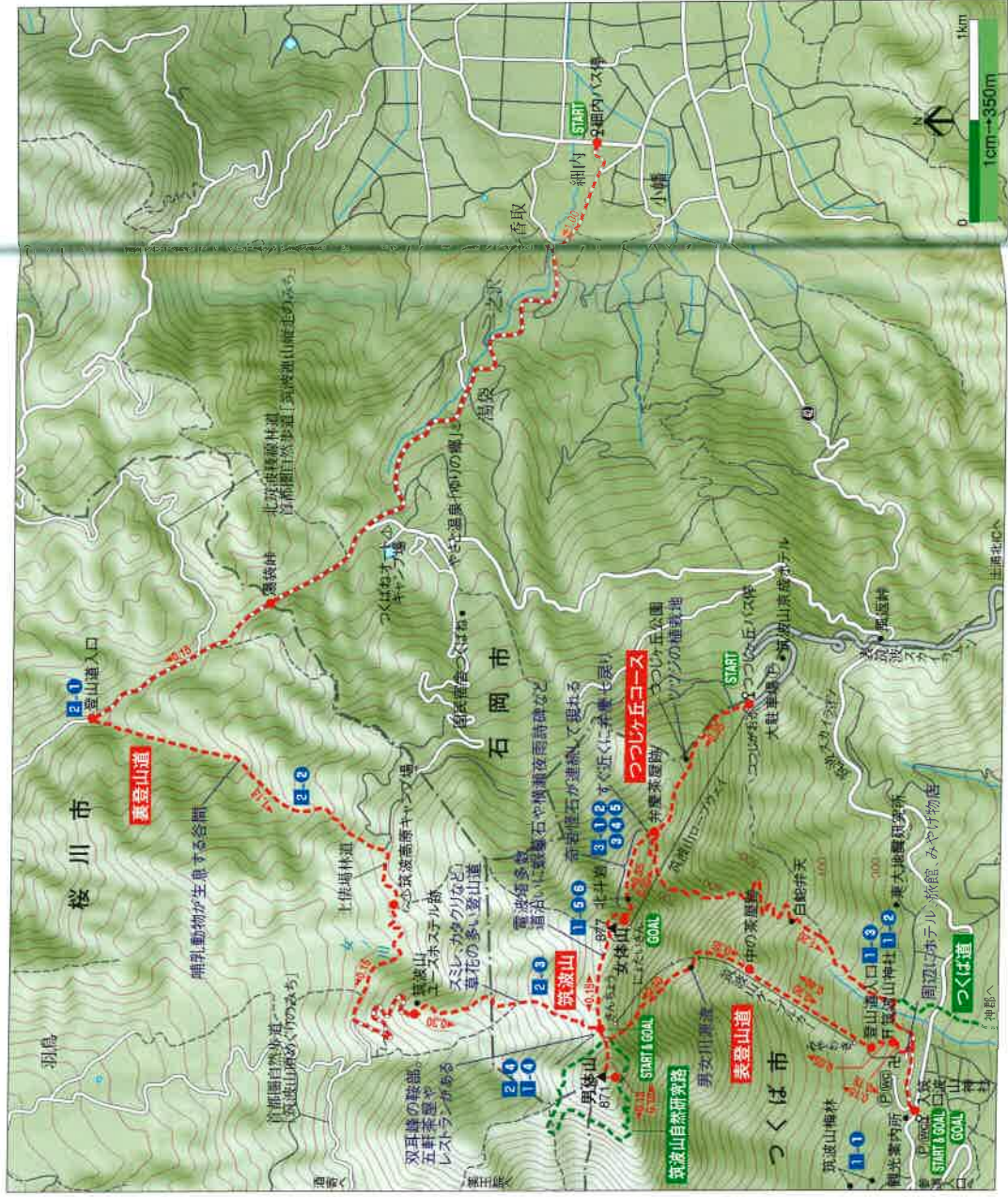
以前の筑波登山では早い終バスに困惑させられたが、つくばエクスプレスの開業以来、TXつくば駅とつつじヶ丘の間でシャトルバスが運行されるようになり、終バスもつつじヶ丘17時発冬春は繰り上げになった。



北条大池と平沢官衙遺跡公園の背後に筑波山が見える



車椅子でも行ける木道と展望舎がつくられた筑波山梅林



注：地図中の①に続く○数字は筑波山①表登山道、②に続く○数字は筑波山②裏登山道、③に続く○数字は筑波山③つつじヶ丘コースの各チェックポイント写真のナンバーです。